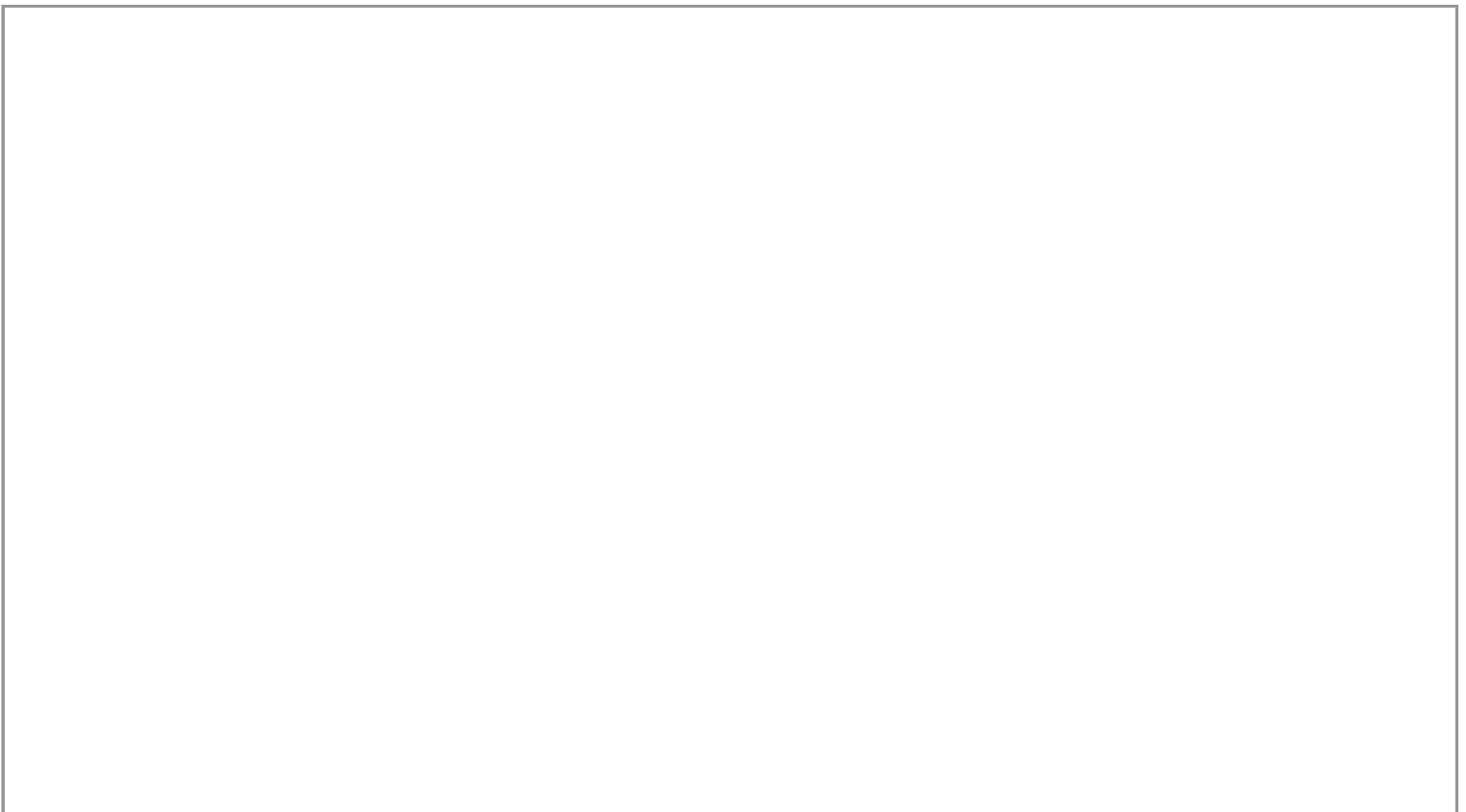


鹿沼相互信用金庫①	観光スポット 日光	
①	<p>日光東照宮（にっこうとうしょうぐう）</p> <p>日本を代表する世界遺産「日光の社寺」。その中でももっとも有名な「日光東照宮」は徳川家康がまつられた神社で、現在の社殿群は、そのほとんどが寛永13年3代将軍家光による「寛永の大造替」で建て替えられたもの。境内には国宝8棟、重要文化財34棟を含む55棟の建造物が並び、その豪華絢爛な美しさは圧巻です。全国各地から集められた名工により、建物には漆や極彩色がほどこされ、柱などには数多くの彫刻が飾られています。</p>	facebook・instagram
②	<p>華厳ノ滝（けごんのたき）</p> <p>48もの滝が点在する日光周辺で、最も有名とも言えるのが華厳ノ滝。中禅寺湖の水が、高さ97メートルの岸壁を一気に落下する壮大な滝で、自然が作り出す雄大さと、華麗な造形美の両方を楽しむことができます。エレベーターで行ける観瀑台から間近で見る滝つぼは迫力満点。爆音とともに水しぶきが弾ける豪快な姿が見られます。5月には見事な新緑、6月にはたくさんのイワツバメが滝周辺を飛び回り、1月から2月にかけては十二滝と呼ばれる細かい小滝が凍るため滝全体がブルーアイスに彩られ、四季折々に違った景色を堪能することができます。</p>	facebook・instagram
③	<p>戦場ヶ原（せんじょうがはら）</p> <p>この地が中禅寺湖をめぐる男体山の神と赤城山の神が争った「戦場」だった、という神話が名前の由来といわれる戦場ヶ原。かつて湖であったものが湿原化したもので、400ヘクタールの広大な面積を誇ります。湿原をぐるりと囲むように自然探究路が整備され、2時間ほどで歩けるハイキングコースになっています。350種類にも及ぶ植物が自生し、野鳥の種類が多いことでも有名。男体山を背景に広大な湿原を見渡せる展望ポイントが各所に設置されており、変化に富んだ壮大な自然を体感することができます。一年を通して楽しめますが、ワスゲやホザキシモツケが見頃になる6月中旬～8月上旬、草紅葉が美しい9月下旬～10月上旬がオススメです。</p>	facebook・instagram

【写真】



鹿沼相互信用金庫②	観光スポット 日光	
④	<p>中禅寺湖（ちゅうぜんじこ）</p> <p>奥日光の入り口に位置する中禅寺湖。周囲約25km、最大水深163mで、およそ2万年前に男体山の噴火による溶岩で溪谷がせき止められ、原形ができたといわれています。穏やかな気候のため、明治から昭和初期にかけては外国人の避暑地として賑わいました。男体山のふもとに広がるのどかな湖畔は四季折々の表情を楽しめますが、特に初夏のツツジ、秋の紅葉が見事です。また、遊覧船に乗って水上からの景色を楽しむのもオススメ。紅葉シーズンには「紅葉廻り」コースも運行されます。</p>	<p>facebook・instagram</p> <p>https://www.facebook.com/skgmt/photos/a.786916834707842.1073741827.784327618300097/786921714707354/?type=3&theater</p>
⑤	<p>いろは坂（いろはざか）</p> <p>日光市街と中禅寺湖・奥日光を結ぶ観光道路。下り専用の第一いろは坂と上り専用の第二いろは坂の二つの坂を合計すると48か所もの急カーブがあることから「いろは48音」にたとえてこの名がついたのだそう。カーブごとに「い」「ろ」「は」・・・の看板が表示される急坂が続き、標高差は440m。第二いろは坂途中の明智平展望台からの眺めは抜群で、第一いろは坂を望むこともできます。</p> <p>秋には日光で最も紅葉の美しいスポットとして知られ、絶景のドライブコースとなっており、大渋滞となるほどの人気。紅葉シーズン中は余裕をもってお出かけすることをオススメします。</p>	<p>facebook・instagram</p>
⑥	<p>竜頭ノ滝（りゅうずのたき）</p> <p>男体山の噴火によってできた溶岩の上を210メートルにわたって流れ落ちる滝。幅10mほどの階段状の岩場を勢いよく流れる溪流爆。滝つぼ近くが大きな岩によって二分され、その様子が竜の頭に似ていることからこの名がついたといわれています。5月～6月は赤紫色のトウゴクミツバツツジが咲き誇るオススメの季節。また9月下旬ごろからは紅葉の名所として人気が高く、モミジやシナノキなどに彩られた美しい景観が楽しめます。観爆台から眺める紅葉に彩られた滝つぼの眺めは最高です。</p>	<p>facebook・instagram</p>

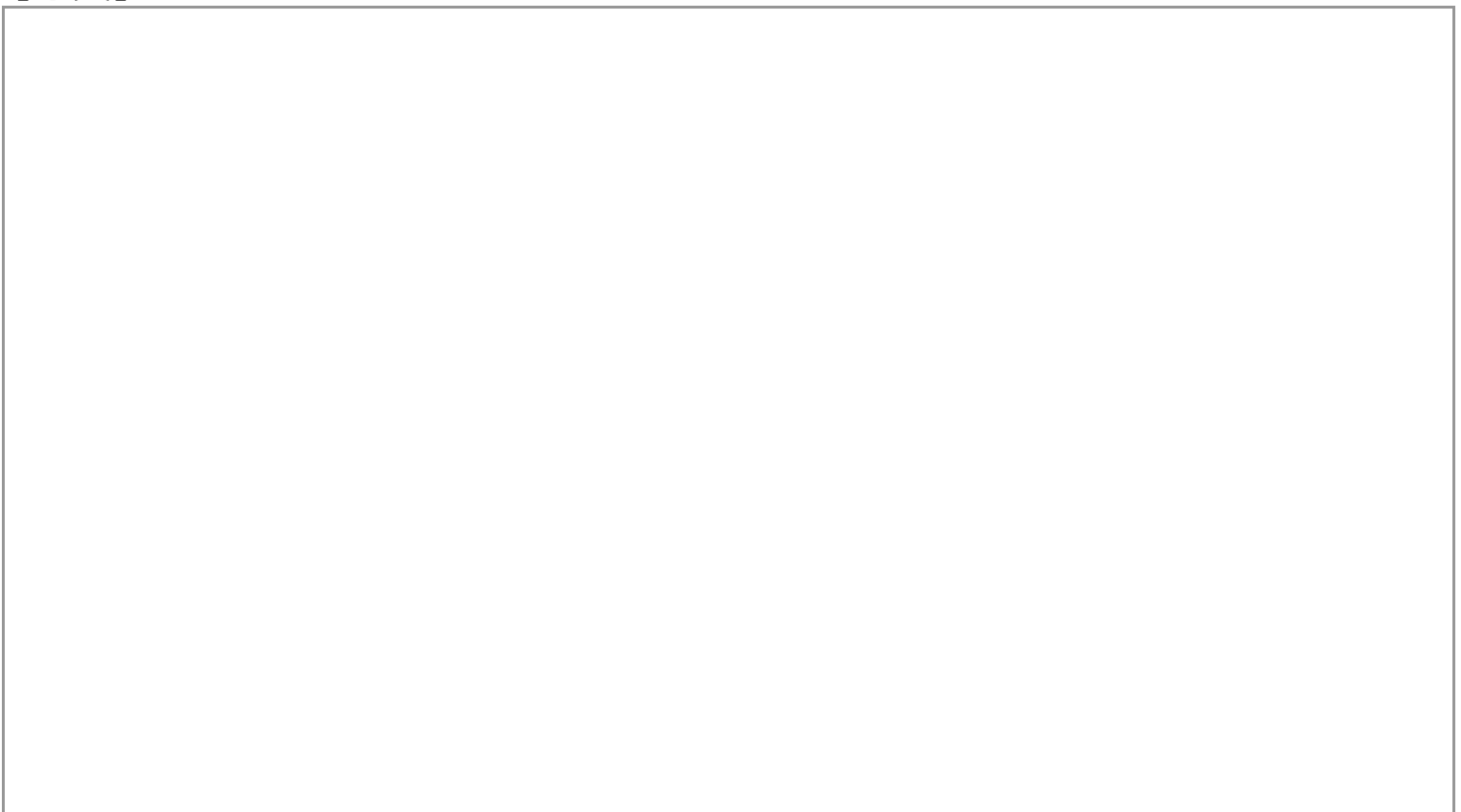
【写真】

中禅寺湖



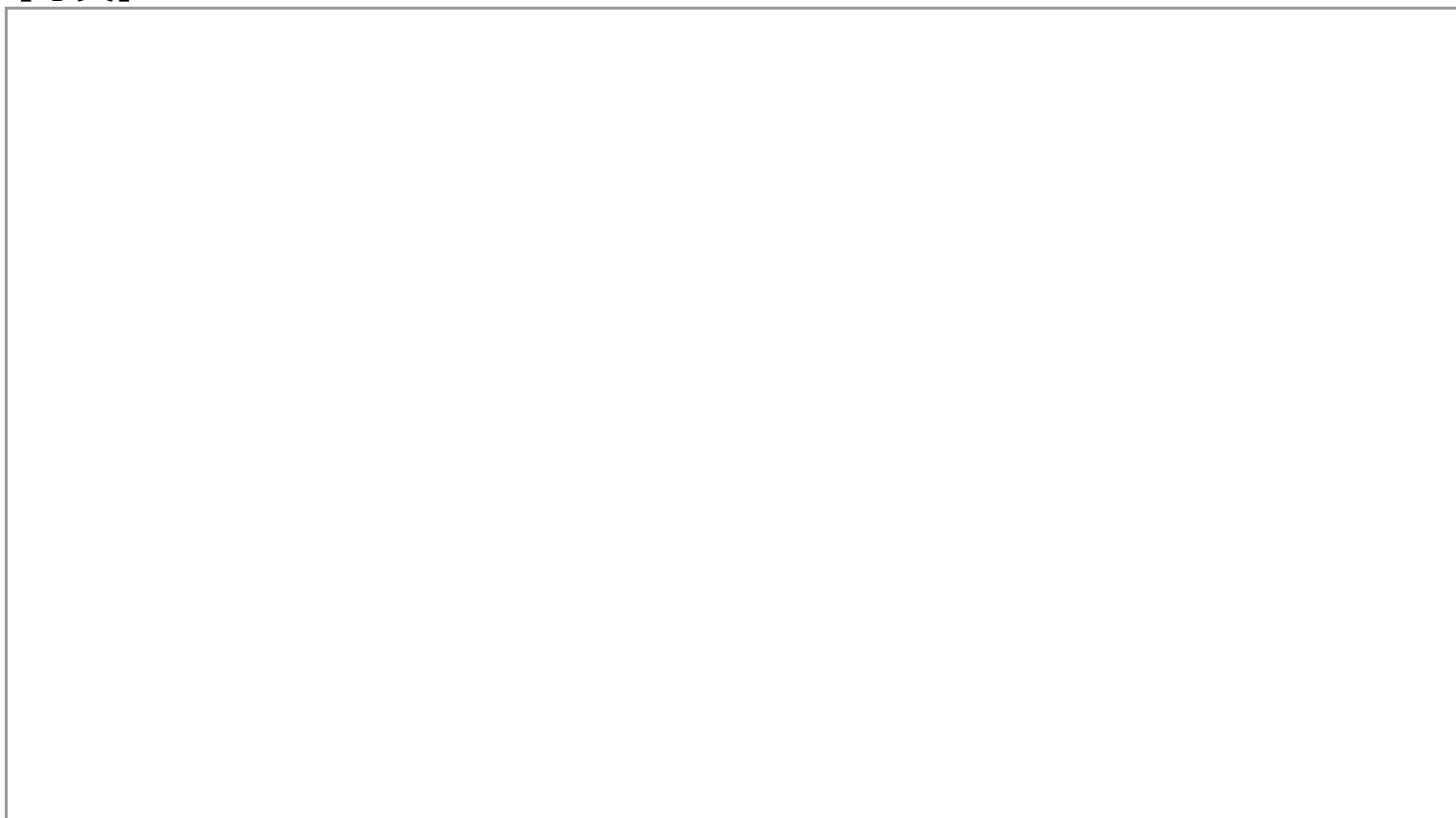
鹿沼相互信用金庫③	観光スポット 日光	
<p data-bbox="50 259 1200 305">⑦ イタリア大使館別荘記念公園</p> <p data-bbox="50 305 1200 502">明治中ごろから昭和初期にかけての中禅寺湖は、各国の大使館をはじめ多くの外国人別荘が建てられ、国際避暑地として発展しました。園内の建物は、昭和3年イタリア大使館の夏季別荘として建造され、平成9年まで歴代の大使が使用していたものを当時の設計図をもとに復元し、皆様にご利用いただける展示館として公開しています。</p>		facebook・instagram
<p data-bbox="50 502 1200 548">⑧ 湯滝（ゆだき）</p> <p data-bbox="50 548 1200 718">湯ノ湖の南端にある高さ70メートル、長さ110メートルの滝で、湯川をせき止めて湯ノ湖をつくった三岳溶岩流の岩壁を湖水が流れ落ちる。滝壺に下りられ、その近くに観爆台があって、迫力ある姿を眺められる。戦場ヶ原から北上するハイキングコースの途中にあり、バス停、湯滝入口からも近い。</p>		facebook・instagram
<p data-bbox="50 718 1200 764">⑨ 日光田母沢御用邸記念公園</p> <p data-bbox="50 764 1200 925">明治32（1899）年から昭和22年まで3代にわたる天皇・皇太子が利用した御用邸で、江戸・明治・大正と三時代の建築様式をもつ集合建築群です。建物は国の重要文化財に指定され、当時の建築様式や皇室文化を垣間見ることができます。</p>		facebook・instagram
<p data-bbox="50 925 1200 971">⑩ 神橋（しんきょう）</p> <p data-bbox="50 971 1200 1271">二荒山（男体山）をご神体としてまつる二荒山神社の建造物で、日光山内の入り口にかかる木造朱塗りの美しい橋。奈良時代の末に勝道上人が日光山を開くとき、大谷川の急流に行く手を阻まれ神仏に加護を求めた際、深沙王（じんじゃおう）が現れ2匹の蛇を放ち、その背から山菅（やますげ）が生えて橋になったという伝説を持つ神聖な橋。別名、山菅橋や山菅の蛇橋（じゃばし）とも呼ばれています。現在のような朱塗りの橋になったのは寛永13(1636)年の東照宮の大造替のとき。明治35(1902)年にそのときの橋は洪水で流されてしまいましたが明治37(1904)年に再建され、日本三大奇橋の1つに数えられています。</p>		facebook・instagram

【写真】



鹿沼相互信用金庫④	観光スポット	
	日光	
⑪	<p style="text-align: center;">湯ノ湖（ゆのこ）</p> <p>三ツ岳の噴火で湯川がせき止められてできた湖。周囲は約3km、三方を山で囲まれており、どことも神秘的な雰囲気漂います。湖岸には散策路があり1時間ほどで一周できます。湖の周囲には、ノリウツギ、オオカメノキ、ウダイカンバなどの広葉樹と、コメツガ、ウラジロモミなどの針葉樹の原生林があり、変化に富んだ手つかずの自然を楽しむことができ、9月下旬～10月中旬には赤・黄・茶、色とりどりの見事な紅葉が見られます。またマス釣りの名所でもあり、5月～9月の解禁期間には、多くの人々で賑わいます。</p>	facebook・instagram
⑫	<p style="text-align: center;">小田代ヶ原（おだしろがはら）</p> <p>湯ノ湖から流れる湯川の西側に広がる周囲2キロの草原で、面積は戦場ヶ原の約4分の1ほど。ミズナラの林に囲まれた大自然が広がります。初夏から夏にかけてはウマノアシガタ(6～7月)、ホザキシモツケ(7～8月)、ニッコウアザミ(7～8月)の群落に、秋にはミズナラの黄葉や草紅葉の美しい光景に出会うことができます。また草原の真ん中に生えている「小田代ヶ原の貴婦人」と呼ばれる1本のシラカンバの木が美しく、シャッターチャンスを狙う人々で後が絶えません。小田代ヶ原へは4月末～11月はハイブリッドバスが運行しています。</p>	facebook・instagram
⑬	<p style="text-align: center;">日光山中禅寺 立木観音（にっこうさんちゅうぜんじ たちきかんのん）</p> <p>日光山の開祖、勝道上人は、男体山山頂をきわめた後、延暦3（784）年に中禅寺を建立、修行の場とした。当時は男体山の登拝口の方にあつたが、明治35年（1902）年の大山津波をきっかけに、中禅寺湖歌ヶ浜に移転した。坂東観音霊場33か所の18番目にあたり、立木観音や波之利大黒天など、特徴的な仏像がまつられている。</p>	facebook・instagram

【写真】



鹿沼相互信用金庫⑤	観光スポット 宇都宮 大谷地区	
<p>大谷資料館（おおやしりょうかん）</p> <p>宇都宮北西部に位置する大谷地区で採掘される「大谷石」は、軽く耐火性に優れていることから、古くから塀や壁などの建築材として広く使用されており、「大谷資料館」は、大谷石の採掘の道具や採掘方法、運搬方法等を展示した施設です。資料館に併設された「大谷石地下採掘場跡」は、地下60メートル、広さ2万平方メートルにもおよぶ巨大地下空間であり、見るものを圧倒する迫力があります。切り出された石は約1000万本にもおよび、その跡は古代ローマ神殿を髣髴させる神秘的な空間となっており、近年は、映画やCMの撮影場所としても注目されるスポットです。また、世界が共感する日本のモノやコトを認定する「クールジャパンアワード2017」を受賞したことで、世界からの注目も浴びています。</p>	<p>facebook・instagram</p> <p>写真展</p>	
②	facebook・instagram	
③	facebook・instagram	
④	facebook・instagram	

【写真】

